

高田地区で、国道459号嵩上げの設計、用地調査を開始します

高田地区では、3月9日に「あだたら環境共生センター」において設計説明会を開催しました。その後、築堤整備に向けて、鋭意作業を進めておりますが、今後の予定は以下のとおりです。

国道459号の嵩上げ詳細設計

高田地区に整備する予定の輪中堤が接する国道459号は、一部高さが低いため、嵩上げ工事が必要です。

そのため、現在、詳細設計を行うための準備を進めており、9月には現地調査に入る予定です。



用地調査について

高田地区用地調査は、8月から現地調査に入るための準備を進めているところであり、調査対象の方には、調査実施前に改めてご連絡いたします。

用地調査が終わり次第、物件調査を行って補償額を算定し、用地買収の個別交渉に入る予定としております。

今後とも本事業のご理解、ご協力のほどをお願い申し上げます。

用地調査：築堤に必要な用地を現地に幅杭として打設し、用地面積及び残地面積を求積する作業です。

物件調査：補償額積算のため、建物のほか、塀や側溝などの工作物、立木等について行います。

①用地調査

(作業中、境界確認等立ち会いをお願いいたします。)

幅杭打設

用地幅杭として、黄色のプラスチック杭や鋸を現地に打設します。

用地測量

設計変更箇所について、用地の境界測量を行います。

面積の求積

上記幅杭測量データ及び境界測量データを元に、用地面積及び残地面積を求積します。

「土地調書」作成

上記面積計算の結果を「土地調書」としてまとめ、土地所有者の方にご確認いただきます。

②物件調査

(作業中に皆様の立ち会いをお願い致します。)

権利者調査

事業の影響を受ける建物等物件の所有者を確認します。

現地調査

所有している建物等について、調査業者が現地で調査を行います。建物の内部を調査させていただきますので、建物を所有している方の立ち会いが必要となります。

「建物配置図」「物件調書」作成

上記調査データをもとに、建物配置図や移転を要する物件の物件調書を作成し、所有者にご確認頂きます。

補償額算定

ご確認頂いた物件の移転に要する補償金額を算定します。

トロミ地区では、 引き続き築堤工事に着手します

輪中堤の築堤施工に先立ち、トロミ第一排水樋門の工事に着手していますが、引き続き築堤工事を行うことで現在準備を進めています。

築堤施工予定箇所は、舟形橋より下流側の北トロミ地内となります。

近隣で樋門と築堤の2件の工事が本格化してきますと、大型ダンプ等の工事用車両の交通量が増えていくことが予想されます。

安全管理等の対策はしっかり行って参りますので、ご協力よろしくお願いたします。

また、現在、用地交渉を鋭意進めているところですが、ご協力を頂きありがとうございます。

引き続き、用地交渉を行って参りますので、みなさまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



平石高田地区について

平石高田地区ですが、築堤の設計について、概ね形状が決まったところですが、一部、高田揚水機場付近の形状が決まっていない状況です。

現在、高田揚水機場の設計を実施するための準備を進めており、9月には、現地調査に入る予定です。

揚水機場の設計を踏まえながら、築堤の設計についても最終形状として完成を目指します。

その後、用地調査を実施することとなりますので、設計が決まれば再度説明会（11月頃予定）を開催させていただきます。



事業に関するご意見・質問は”何でもお気軽に”下記へお問い合わせ下さい。

事業に関するご意見・質問等の問い合わせ先

◆問い合わせ総合窓口◆

○二本松市 建設部 土木課 監理係 TEL : 0243-55-5123 (直通)

FAX : 0243-23-1197

E-mail : kanri@city.nihonmatsu.lg.jp

※なお、事業計画、用地に関する問い合わせは、下記連絡先でも受け付けております。

○国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

工務第一課 (計画に関する事) TEL : 024-539-6125 (直通)

用地第一課 (用地に関する事) TEL : 024-539-6123 (直通)